

平成13年7月11日

サッポロビール株式会社
課税移出(引取)数量報告 平成13年上期分

サッポロビール(株) 広報・IR室

下記の通りご連絡申し上げますので、よろしく御取計ください。

単位：KL、千函、%

<上期計>		本年キリットル	本年大瓶換算	前年比	前年キリットル	前年大瓶換算
ビール	国産	302,439	23,889	▲ 16.2	361,092	28,522
	輸入	1,347	106	10.7	1,216	96
	小計	303,787	23,996	▲ 16.2	362,308	28,618
発泡酒	国産	189,907	15,001	62.4	116,948	9,238
	輸入	0	0		0	0
	小計	189,907	15,001	62.4	116,948	9,238
ビール+発泡酒 合計		493,694	38,996	3.0	479,256	37,856

*国産は課税移出、輸入は課税引取り。大瓶換算は1函=12.66%。
 *全ての数は表示の1桁下を四捨五入して算出。

*前年比は1函単位の実数から算出しているため、千函・万函単位の本表の表示数からの逆算とは異なることがある。

<ブランド別販売状況>

単位：万函、%

	<上.期>			<累計>		
	本年函数	前年比	前年函数	本年函数	前年比	前年函数
黒ラベル	1,933	▲ 10.8	2,168	1,933	▲ 10.8	2,168
エビス	364	▲ 1.9	371	364	▲ 1.9	371
グラントピア	0		170	0		170
セブン	93		0	93		0
生搾り	813		0	813		0
プロイ	276	▲ 60.0	691	276	▲ 60.0	691
冷製辛口	304	36.2	223	304	36.2	223

<トピックス>

市場動向：上期のビール+発泡酒の総需要(課税)は、1-5月前年比100.4%という流れでしたが、6月に消費実態と乖離した二桁増を記録し、1-6月では104%近い水準になったと推測されます。

当社全般：当社は1-5月課税移出前年比103.5%と好調に推移してきましたし、6月についても商品鮮度を重視し、市場安定に意を用いて、最終的に3%増を達成しました。この数字は、消費実態に比較して2%程度上回ったものと見ており、当社としては実質的シェアアップと評価しています。上期は、前年同月にグラントピアを発売した2月を除いた全ての月で前年水準を超えており、この理由は「黒ラベル復調、エビス順調、生搾り絶好調」というブランドフォーメーションが、十分に機能しているからと考えています。

上期合計(課税)を103%で折り返したことで、販売数量の年間計画である8500万函(102%)の達成は完全に射程内となりました。

黒ラベル：TVCM、オジナル冷蔵庫CPと、ブランドイメージの蓄積を図り、下げ止まりに向かいつつあります。前年上期に約5%離されていたビール総需要との差が、並び掛けるまでに詰まってきました。(前年上期は、ビール総需要95.6%に対し黒ラベルは90.7%)

エビス：独自のブランド価値が認められ、ビール全体が不振の中でもほぼ前年並みとなりました。ギガ需要などを取り込むことにより、通年では前年並みを目指していきます。

生搾り：3月発売以来、164万、184万、214万、251万函と月を追う毎に上昇してきました。TVCM、ナンボラCPともに好評で、ブランド認知と数量がリンクして急上昇中です。発売時800万函の年内計画を1600万函に上方修正していますが、それを凌駕する勢いです。

プロイ：発泡酒のバラエティ幅を広げる「味わい」のブランドとして着実なご支持を集めています。

冷製辛口：爽快系発泡酒ファンから底固いご評価を頂いて市場定着を果たしています。